

“暖地型牧草”の移植作業

- センチピードグラスによる草地造成事例の紹介 -

1. はじめに

センチピードグラスは暖地型の芝草で、土壌を選ばず、耐暑性 耐旱性に優れるのが特徴です。また、播種によって容易に草地造成が可能であり、密な芝生を形成します。しかし、種子が高価であり、傾斜地では定着率が落ちるために、播種による造成はコスト高となります。

そこで、低コスト化を目的として傾斜地の多い鹿島町の御津放牧場において、センチピードグラスの移植作業を実施しました。

2. 苗移植法による暖地型牧草地の造成法

(1)育苗方法

128～228穴セルトレイに培土を入れ、1穴に4粒程度を目安に種子を落とします。

土質は選びませんが、セルトレイの穴が小さいため目の粗い土を使うとセル内に十分な土が入らず、生育が不揃いな苗になります。夾雑物が目立つようであれば、ふるいにかけるなどして取り除いておくほうが良いでしょう。

播種後はセルトレイを水に浸け、発芽がそろって半日陰に置きます。

適温では10～14日で発芽がそろいます。



水に浸かった状態のセルトレイ



散水チューブとタイマーを用いて自動散水も可能

発芽がそろった後はセルトレイを水からあげ、日当たりのいい場所へ移します。土が乾きすぎないように、1日1回水やりをします。適温では約1ヵ月程度で移植可能な大きさになります。

(2)移植方法



穴開け

苗が小さいので、大きな穴を掘る必要はありません。電動ドリルのバッテリー持続時間は土質により、0.5～1.5時間が目安です。

なお、鉄棒での穴あけは簡単ですが、穴の深さが一定にならないことが欠点です。



施肥

IB化成などの緩効性肥料を1穴につき2粒程度入れます。



植え付け

株元からランナーが伸びるので、株元に土がかぶるように植え付けます。

牛道など蹄傷が激しいと予測されるような場所への移植は避けましょう。

(3)その他

シバ型草種は、草丈が低く、ランナーを地表に這わせて茂る植物です(写真左)。他の草が繁茂している場所へ移植してもその後の生育に支障をきたす可能性があります。裸地化した場所へ“つぎはぎ”の感覚で植えると良いでしょう。気象や土壌条件などがよければ、2年でマット化します(写真右)。



ランナー伸長の様子



マット化したセンチピードグラスの様子(畜産試験場第9牧区)

3.現地における移植作業～鹿島町御津放牧場

(1)放牧地の概要

和牛の生産性の向上、治山、漁業資源の回復を目指した「森林再生型放牧」の取り組みを行っています。

放牧場名：御津放牧場
 所在地：島根県鹿島町御津
 放牧面積：2.2ha
 開牧：平成13年12月
 実施者：鹿島町和牛改良組合、JAくまびき、御津漁協、鹿島町
 放牧期間：5月～11月
 常時放牧頭数：4～5頭
 その他：秋口より補助飼料(粗飼料)給与あり



(2)供試草種

草種：センチピードグラス(ティフブレア)
 苗数：4000個(128穴トレイ約30枚分)

(3)作業人数
10名

(4)当日の概要

作業日：平成16年7月2日(金) 13:30～16:30
 13～16時の気象：降水量0mm,平均気温25.6(最高26.1、最低24.5),平均風速3m/s,日照時間0.1時間
 移植方法：2名1組で移植作業。セルトレイ1枚分の苗を移植するのにかった時間は約40分。

(5)コスト試算

今回の移植にかかったコストは49,944円で、詳細は下記の通りでした。

一組当たりの苗数はセルトレイ6枚程度でした。急傾斜地で作業性が悪い事が大きな要因ですが、作業人数の割に労働時間がかかり、労働費が上がる結果となりました。

項目		単価	数量	計	備考
育苗費	培土	840円 /袋	6 袋	5,040	黒ボク土
	セルトレイ	208円 /枚	30 枚	6,240	128穴
	種子	13,650円 /kg	30 g	410	センチピード
	肥料	2,541円 /20kg	2 kg	254	IB化成
	労働費	1,000円 /人	1 人	14,000	播種:10,000円,@1,000*1人*10時間 水やり:4000円,@1,000*1人*4時間
小計				25,494	
移植費	労働費	1,000円 /人	8 人	24,000	@1,000*8人*3時間
	小計				24,000
計				49,944	